

1 基本方針(コンセプト)

みらいにつながるリサイクルセンター

まちや自然、地球環境を未来へつなぐリサイクルセンター。
その旭川市リサイクルセンターを下記5つの設計方針で実施していきます。

- 1 安全で安心な施設
 - ・作業員や見学者が安全に利用できる施設
- 2 効率的で経済性が高い施設
 - ・安定した処理を持続的に行うことができる施設
- 3 災害に強い施設
 - ・地震に強い耐震性を高め、災害時にも安定的なごみの受入を持続可能な施設
- 4 環境に配慮した施設
 - ・自然エネルギーの活用や省エネルギー設備により、地球環境に配慮した施設
- 5 環境啓発機能を持ち、市民に親しまれる施設
 - ・見学対応機能などを有し、環境学習を通じて市民活動や交流が図れる施設



外観南東側パース

2 施設概要

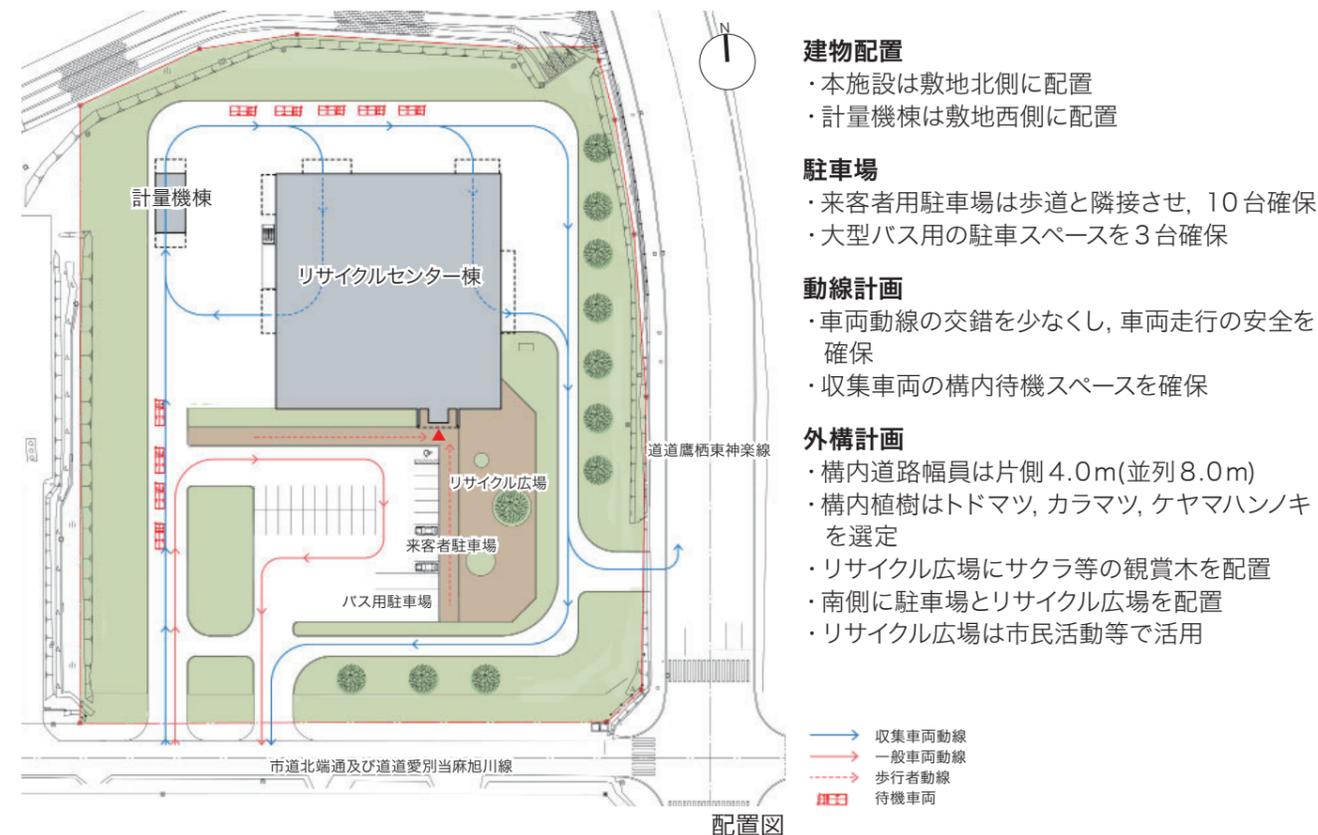
用途	その他の処理施設		
構造	リサイクルセンター棟：鉄骨造	計量機棟：鉄骨造	
建築面積	リサイクルセンター棟 2,340.30㎡	計量機棟 118.40㎡	合計2,458.70㎡
延床面積	リサイクルセンター棟 3,125.51㎡	計量機棟 72.00㎡	合計3,197.51㎡
階数	2階建て		
高さ	最高の高さ 13.90m		
処理対象物	空き缶 空きびん 家庭金物 紙パック		
処理能力	20t/日(5h)		

3 建設位置

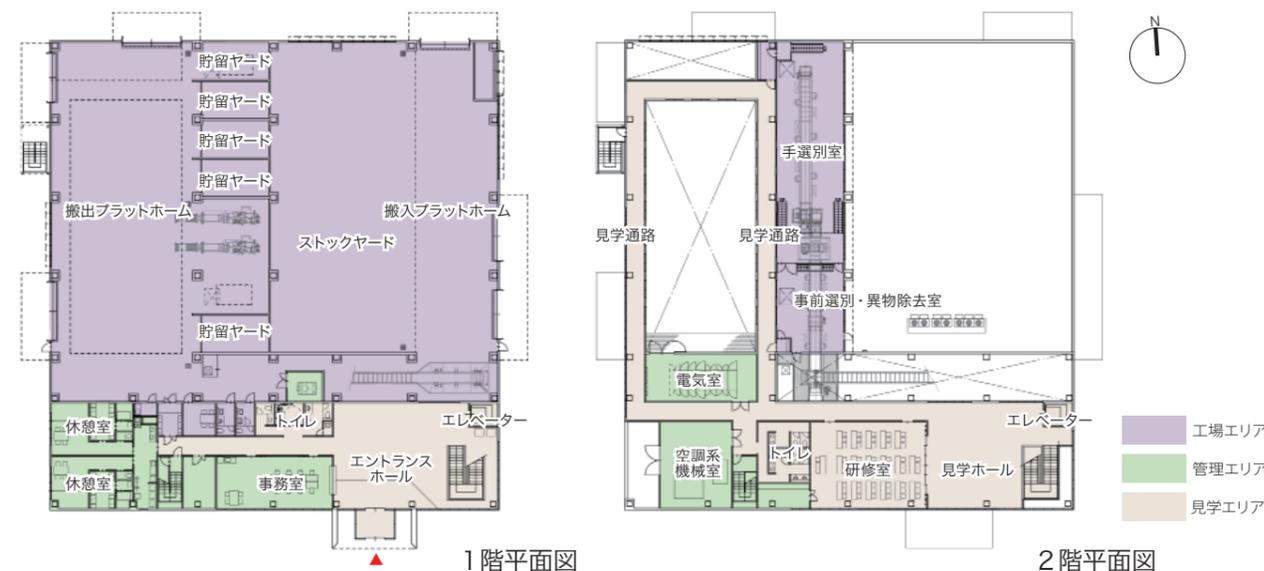


敷地の位置	旭川市東旭川町上兵村
敷地面積	15,765.00㎡
都市計画区域	市街化調整区域
用途地域	指定無し
都市施設	ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)
防火地域	指定無し
高度地区	指定無し

4 配置計画

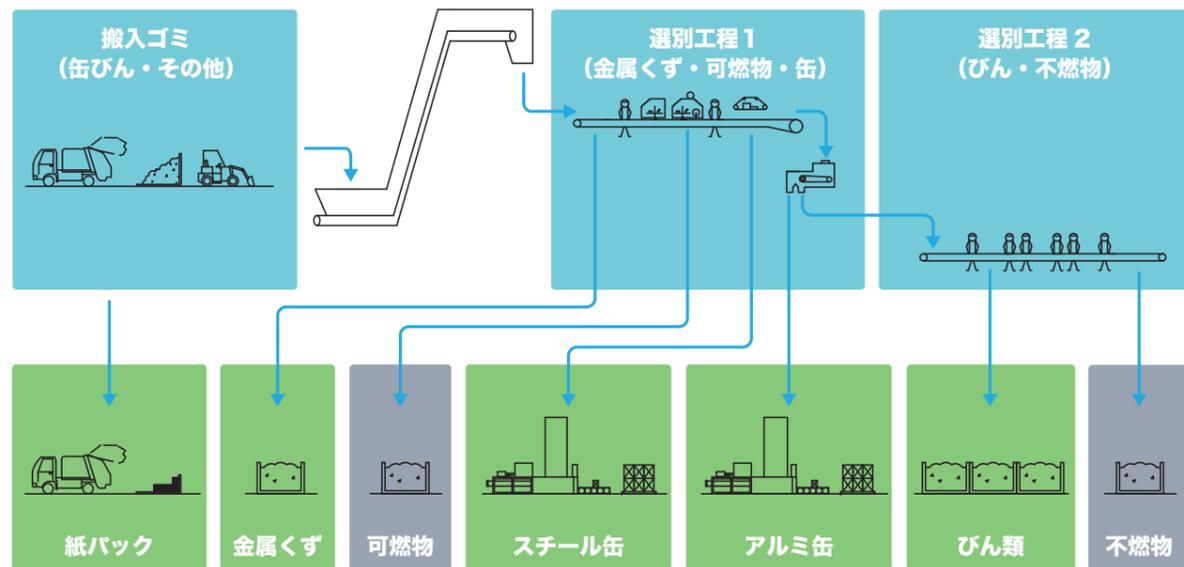


5 平面計画



- ・北側に工場エリアを配置し、南側に見学エリアと管理エリアを集約した機能的なゾーニング
- ・平面は正方形に近い形状とし、無駄を省いた経済的かつ効率的な構成
- ・100年から150年に1回起こり得る浸水の対策を施し、洪水時の浸水被害を最小限化
- ・電気室と空調系機械室を2階に配置し、万が一の浸水被害を防止
- ・停電時、ごみ収集中の車両を受け入れ出来るよう蓄電池(UPS)を設置し、計量と計量記録機能を維持
- ・窓ガラスと一体となった太陽光発電設備を設置し、環境負荷の低減と環境啓発を推進
- ・見学通路は回廊型とし、廃棄物の搬入から搬出までの一連の処理見学が可能

6 資源物中間処理設備計画



- ・ 歩車分離による良好な作業環境を創出
- ・ 旭川市のごみ組成に合致した処理工程の採用による安定処理の確保
- ・ 袋を取り除く作業の自動化による選別作業の負担軽減
- ・ 段差を最小限とすることでびんの割れの最小限化と残さ量の低減
- ・ 選別工程及び搬入搬出エリアの脱臭による施設外への臭気拡大を抑制

7 外観イメージパース



8 内観イメージパース

